

平成 26 年 5 月 9 日

国土交通大臣 殿

地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称： 『九州』山の元気DEステップ26住宅

グループの名称： KS倶楽部

直近採択グループ番号： 03 - 0084 - 0456

(平成26年度新規グループは、採択グループ番号は必要ありません)

(グループ代表者)

代表者名： 佐藤 大八 代表者印

代表者所属先： 株式会社 喜太郎

代表者構成員番号： III-5 , IV-4

代表者住所： 熊本県葦北郡芦北町大字芦北2190番地

電話番号： 0966823999

(グループ事務局)

事務局事業者名： 株式会社 喜太郎 統括本部

事務局構成員番号： III-5 , IV-4

事務局担当者名： 田中 雄大 印

事務局郵便番号： 861-3101

事務局住所： 熊本県上益城郡嘉島町鯉2803-4-2F

事務局電話番号： 0962743339

事務局FAX： 0962373646

事務局担当者E-mail: kitarou.tanaka@gmail.com

※ 過去に採択されたグループは、最終的に提出された適用申請書から変更点がある場合、その変更点分かるように(文字の色を変更する、下線を引く等)記載して下さい。

■他の様式にリンクしますので、全て正確に記載してください。

1. 地域型住宅の名称(必須)	『九州』山の元気DEステップ26住宅
2. グループの名称(必須)	KS倶楽部
3. 地域型住宅供給対象地域(必須)	九州地方・中国地方・関西地方・中部地方・関東地方
4. 結成年月(必須)	平成21年1月
5. グループ代表者名(必須)	佐藤 大八
6. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 喜太郎
7. グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅲ-5 , Ⅳ-4
8. グループ代表者所在地(必須)	熊本県葦北郡芦北町大字芦北2190番地
9. グループ代表者電話番号(必須)	0966823999
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 喜太郎 統括本部
11. グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅲ-5 , Ⅳ-4
12. グループ事務局担当者名(必須)	田中 雄大
13. グループ事務局郵便番号(必須)	861-3101
14. グループ事務局所在地(必須)	熊本県上益城郡嘉島町鯨2803-4-2F
15. グループ事務局電話番号(必須)	0962743339
16. グループ事務局FAX番号(必須)	0962373646
17. グループ事務局担当者E-mail(必須)	kitarou.tanaka@gmail.com

注1

注2

注3

注3

(構成員数) ※様式2-2の各シートからリンクする為、入力はありません。

I. 原木供給	2	/
II. 製材・集材製造・合板製造	4	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	8	
IV. プレカット	5	
V. 設計	45	
VI. 施工	54	
VII. 木材を扱わない流通	4	
VIII. I～VII以外の業種	1	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	九州産材	熊本県	合法木材証明制度
	九州産材	福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・宮崎県・鹿児島県	合法木材証明制度
B. 平成26年度における地域型住宅の供給予定戸数等 (必須)	地域型住宅の供給予定戸数	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	310 戸	昨年の供給実績(625棟)の約50%(310棟)を地域型住宅として供給する。その中で、長期優良住宅未経験工務店(24社)への普及促進を踏まえ、120棟(24社×5棟)とした。	
	うち経験工務店による長期優良住宅 190 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 120 戸	
C. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	地域型住宅による地域材使用予定量	平均の使用量が約10㎡/戸として算出。(1棟平均11㎡×90%≒10㎡)	
	3100 ㎡	3100 ㎡	
D. 平成25年度の執行状況 (H25年度採択グループのみ必須)	採択戸数 注4	交付申請戸数	完了実績見込み
	43 戸	33 戸	竣工済 9 戸 竣工予定 24 戸

注1)代表者の所属先及び事務局事業者名は略さず正式名で記載してください。例:株式会社〇(株)×

注2)郵便番号は、ハイフンありで半角入力 例:123-4567

注3)電話番号・FAXは、ハイフンなしで半角入力 例:0123456789

注4)採択戸数は最終的な配分戸数を記入して下さい。

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由			

注1

県番号	構成員番号	事業者名	所在地
V. 設計			構成員数: 45
44	V - 1	株式会社 ハウジングトップ トップ一級建築士事務所	大分市大字南94番地
23	V - 2	壽鑛業一級建築士事務所	田原市白谷町東山103
46	V - 3	株式会社 技建設計事務所	薩摩川内市平佐町1564
43	V - 4	コスモ一級設計室	熊本市北区八景水谷1丁目23-32
41	V - 5	上野建築事務所	唐津市新興町3009-2
41	V - 6	株式会社 朝日工業一級建築士事務所	武雄市朝日町大字甘久3453番地4
42	V - 7	R.C.A建築設計事務所	諫早市高来町平田188
27	V - 8	龍華土建工業 株式会社 一級建築士事務所	八尾市太子堂4丁目3番15号
44	V - 9	株式会社 カリキタ二級建築士事務所	中津市中央町2丁目3番15号
40	V - 10	株式会社 ホームラボ二級建築士事務所	久留米市山川沓形町2-21
24	V - 11	丸亀一級建築士事務所	松阪市高町450-1
41	V - 12	なかむら住宅 株式会社 一級建築士事務所	佐賀市兵庫南4丁目1番25号
12	V - 13	株式会社 オールエンジニアリング	松戸市日暮5丁目183番地
45	V - 14	治田建築設計事務所	日向市財光寺6088-97
42	V - 15	空感考房CO・CO	長崎市上野町6-27
45	V - 16	センダハウス設計室	宮崎市大字小松1173番地22
46	V - 17	株式会社 創造企画一級建築士事務所	鹿児島市玉里団地1丁目8番17号
46	V - 18	株式会社 ジーテック建築設計事務所	鹿児島市西田3丁目1番1
40	V - 19	パワーハウス 株式会社	福岡市東区八田2丁目21番28号
44	V - 20	株式会社 大建設一級建築士事務所	豊後大野市犬飼町大寒2215番地
45	V - 21	HAM設計室	宮崎市清武町加納甲1428番1 グランディヒルズ206号
44	V - 22	株式会社 後藤組一級建築士事務所	大分市生石4丁目1番20号
42	V - 23	おがわ建築設計室	長崎市三和町185-2
46	V - 24	株式会社 菜一級建築士事務所	鹿児島市紫原3丁目29番27号
43	V - 25	有限会社 山一工務店設計事務所	人吉市下薩摩瀬町648-4
45	V - 26	株式会社 キャスト	延岡市卸本町6番7号
46	V - 27	ウノキ建築設計事務所	鹿児島市伊敷台5丁目11番10号
42	V - 28	ミヤザキ建築設計事務所	長崎市戸石町857-5
40	V - 29	株式会社 アーキテックス二級建築士事務所	春日市一の谷1丁目126番地
43	V - 30	ユーエアデザイン 株式会社二級建築士事務所	上益城郡嘉島町鯉19-4
45	V - 31	バリア・フリー工房建築士事務所	宮崎市大淀2丁目5-5
33	V - 32	岸本建設 株式会社一級建築士事務所	岡山市北区今5丁目5番16号
33	V - 33	株式会社 丹羽建築設計事務所	岡山市北区内山下1丁目4番21号

注1

注2

注3

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
VI. 施工 (元請の年間新築住宅供給戸数が50戸未満の中小住宅生産者が5事業者以上)					構成員数: 54	
44	VI-1	株式会社 ハウジングトップ		870-0117	大分市大字南94番地	0975213136
23	VI-2	壽産業 株式会社		441-3431	田原市白谷町東山103	0531220753
46	VI-3	株式会社 技建		895-0012	薩摩川内市平佐町1564	0996252208
43	VI-4	株式会社 コスモホーム		861-8064	熊本市北区八景水谷一丁目23番32号	0963440099
41	VI-5	株式会社 孝和建設		847-0031	唐津市原1471番地1	0955772335
41	VI-6	株式会社 朝日工業		843-0001	武雄市朝日町大字甘久3453番地4	0954223268
46	VI-7	横村建設 株式会社		891-0113	鹿児島市東谷山四丁目5番11号	0992602608
27	VI-8	龍華土建工業 株式会社		581-0063	八尾市太子堂四丁目3番15号	0729916671
44	VI-9	株式会社 カリキタ		871-0024	中津市中央町2丁目3番15号	0979235577
40	VI-10	株式会社 ホームラボ		839-0809	久留米市東合川7丁目6-7	0942658440
24	VI-11	丸亀産業 株式会社		515-0011	松阪市高町450-1	0598539111
42	VI-12	グッドホーム 株式会社		852-8115	長崎市岡町2-22 瀏ビル2F	0958477420
41	VI-13	なかむら住宅 株式会社		849-0918	佐賀市兵庫南四丁目1番25号	0952220111
12	VI-14	株式会社 ヨシザキユニコン		270-2253	松戸市日暮五丁目183番地	0473115531
45	VI-15	株式会社 さくらホーム宮崎		880-0927	宮崎市源藤町源藤872番地4 アプリーリア 1F	0985590885
42	VI-16	有限会社 福井商事		852-8113	長崎市長野町6-27	0958460688
45	VI-17	株式会社 センダハウス		880-2112	宮崎市大字小松1173番地22	0985474321
46	VI-18	株式会社 創造企画		890-0011	鹿児島市玉里団地一丁目8番17号	0992205131
46	VI-19	株式会社 ジーテック		890-0046	鹿児島市西田3丁目1番1	0992040431
40	VI-20	パワーハウス 株式会社		813-0031	福岡市東区八田二丁目21番28号	0926918880
44	VI-21	株式会社 大建設		879-7304	豊後大野市犬飼町大寒2215番地	0975780292
45	VI-22	有限会社 浜砂住建		889-1602	宮崎市清武町今泉甲1010番地8	0985855035
44	VI-23	株式会社 後藤組		870-0003	大分市生石四丁目1番20号	0975327171
42	VI-24	株式会社 コスモ地建		850-0954	長崎市新戸町3丁目17番11号	0958787666
46	VI-25	株式会社 葉		890-0082	鹿児島市紫原三丁目29番27号	0998148110
43	VI-26	有限会社 山一工務店		868-0014	人吉市下薩摩瀬町648-4	0966221234
43	VI-27	長松建築		869-5563	葦北郡芦北町湯浦3-1012	0966862025
45	VI-28	株式会社 キャスト		882-0855	延岡市卸本町6番7号	0982358200
46	VI-29	株式会社 時吉組		891-4207	熊本郡屋久島町小瀬田324番地1	0997435311
42	VI-30	株式会社 マイハウス		851-2107	西彼杵郡時津町久留里郷244番地4	0958949997
40	VI-31	株式会社 アーキテックス		816-0852	春日市一の谷1丁目126番地	0925893377
27	VI-32	株式会社 ジェイテック		595-0031	泉大津市我孫子371	0669644500
43	VI-33	ユーエリアデザイン 株式会社		861-3101	上益城郡嘉島町鯉19-4	0963788632
45	VI-34	有限会社 バリアフリー工房		880-0902	宮崎市大淀2丁目5-5	0985546886
33	VI-35	岸本建設 株式会社		700-0975	岡山市北区今5丁目5番16号	0862412295
42	VI-36	株式会社 クリエイト		850-0833	長崎市東小島町8番5号	0958272934
43	VI-37	有限会社 吉村建設		865-0052	玉名市松木42番地15	0968728884
43	VI-38	高野総合建築		869-5304	葦北郡芦北町海浦83-3	0966871649

県 番号	構成員 番号	事業者名	平成25年(1月~12月)実績				注4	注5	注6	注7
			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		補助金 の活用 実績	被災地 に該当	省エネ 講習 修了済	省エネ 講習 受講 予定
			H25年実績	直近3年平均	H25年実績	直近3年平均	25 〇	0 〇	15 〇	39 〇
(元請の年間新築住宅供給戸数が50戸未満の中小住宅生産者が5事業者以上)			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		25	0	15	39
			H25年実績	直近3年平均	H25年実績	直近3年平均	〇	〇	〇	〇
44	VI-1	株式会社 ハウジングトップ	88 戸	62 戸	1 戸	1 戸	〇			〇
23	VI-2	壽鎮業 株式会社	72 戸	46 戸	0 戸	0 戸			〇	
46	VI-3	株式会社 技建	41 戸	35 戸	0 戸	4 戸	〇		〇	
43	VI-4	株式会社 コスモホーム	40 戸	30 戸	0 戸	1 戸	〇		〇	
41	VI-5	株式会社 孝和建设	35 戸	29 戸	5 戸	3 戸	〇		〇	
41	VI-6	株式会社 朝日工業	29 戸	28 戸	12 戸	12 戸	〇		〇	
46	VI-7	横村建設 株式会社	27 戸	9 戸	0 戸	0 戸				〇
27	VI-8	龍華土工工業 株式会社	25 戸	36 戸	0 戸	0 戸				〇
44	VI-9	株式会社 カリキタ	24 戸	22 戸	1 戸	1 戸	〇			〇
40	VI-10	株式会社 ホームラボ	23 戸	23 戸	9 戸	10 戸	〇		〇	
24	VI-11	丸亀産業 株式会社	22 戸	14 戸	0 戸	0 戸				〇
42	VI-12	グッドホーム 株式会社	20 戸	17 戸	1 戸	3 戸	〇		〇	
41	VI-13	なかむら住宅 株式会社	15 戸	10 戸	0 戸	1 戸				〇
12	VI-14	株式会社 ヨシザキユニコン	13 戸	10 戸	0 戸	0 戸				〇
45	VI-15	株式会社 さくらホーム宮崎	12 戸	12 戸	1 戸	2 戸			〇	
42	VI-16	有限会社 福井商事	12 戸	11 戸	12 戸	11 戸	〇		〇	
45	VI-17	株式会社 センダハウス	11 戸	15 戸	5 戸	3 戸	〇		〇	
46	VI-18	株式会社 創造企画	10 戸	7 戸	7 戸	5 戸	〇			〇
46	VI-19	株式会社 ジーテック	10 戸	3 戸	0 戸	0 戸				〇
40	VI-20	パワーハウス 株式会社	9 戸	4 戸	7 戸	2 戸	〇			〇
44	VI-21	株式会社 大建設	8 戸	5 戸	0 戸	0 戸				〇
45	VI-22	有限会社 浜砂住建	6 戸	3 戸	1 戸	1 戸	〇			〇
44	VI-23	株式会社 後藤組	6 戸	2 戸	0 戸	0 戸				〇
42	VI-24	株式会社 コスモ地建	5 戸	5 戸	5 戸	5 戸	〇			〇
46	VI-25	株式会社 葉	5 戸	5 戸	1 戸	2 戸	〇			〇
43	VI-26	有限会社 山一工務店	4 戸	5 戸	0 戸	0 戸				〇
43	VI-27	長松建築	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸				〇
45	VI-28	株式会社 キャスト	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸			〇	
46	VI-29	株式会社 時吉組	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸				〇
42	VI-30	株式会社 マイハウス	4 戸	2 戸	2 戸	1 戸			〇	
40	VI-31	株式会社 アーキテックス	4 戸	2 戸	3 戸	2 戸	〇			〇
27	VI-32	株式会社 ジェイテック	3 戸	5 戸	0 戸	2 戸				〇
43	VI-33	ユーエリアデザイン 株式会社	3 戸	5 戸	0 戸	0 戸				〇
45	VI-34	有限会社 バリア・フリー工房	3 戸	4 戸	1 戸	1 戸	〇			〇
33	VI-35	岸本建設 株式会社	3 戸	4 戸	0 戸	0 戸				〇
42	VI-36	株式会社 クリエイト	3 戸	3 戸	2 戸	1 戸	〇			〇
43	VI-37	有限会社 吉村建設	3 戸	3 戸	0 戸	1 戸	〇			〇

県 番号	構成員 番号	事業者名	平成25年(1月~12月)実績				注4	注5	注6	注7
			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		補助金の活用実績	被災地に該当	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
			H25年実績	直近3年平均	H25年実績	直近3年平均	25	0	15	39
(元請の年間新築住宅供給戸数が50戸未満の中小住宅生産者が5事業者以上)										
43	VI-38	高野総合建築	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸			○	
40	VI-39	株式会社 西尾建設	2 戸	3 戸	2 戸	1 戸	○		○	
42	VI-40	有限会社 小谷守工務店	2 戸	1 戸	1 戸	1 戸	○		○	
46	VI-41	株式会社 中間建設	1 戸	5 戸	0 戸	0 戸			○	
40	VI-42	株式会社 セイコー・トータル・ホーム	1 戸	2 戸	1 戸	2 戸	○		○	
23	VI-43	新美建設 株式会社	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸			○	
41	VI-44	有限会社 大園建設	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	○		○	
44	VI-45	株式会社 小出建設	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	○		○	
40	VI-46	有限会社 フィンテック	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸			○	
40	VI-47	有限会社 宮田工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸			○	
43	VI-48	株式会社 サンライフ	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸			○	
40	VI-49	株式会社 かねぜん建設	0 戸	30 戸	0 戸	10 戸			○	
40	VI-50	株式会社 興亜	0 戸	2 戸	0 戸	1 戸	○		○	
44	VI-51	株式会社 日邦	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸			○	
34	VI-52	大起建設 株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸			○	
42	VI-53	株式会社 スムホーム	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸			○	
40	VI-54	株式会社 みやけ商会	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸			○	
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				
	VI-		戸	戸	戸	戸				

注1) 様式2-2 VI-1のシートからリンクするため、入力はありません。

注4) 過去に地域型住宅ブランド化事業や木のいえ整備促進事業等、長期優良住宅の整備に対する補助を受けたことがある場合は○を付けて下さい。なお、平成25年度地域型住宅ブランド化事業については、交付申請を行った場合でも○を付けて下さい。

注5) 「被災地」については、「施工」の事業者の主たる事業所(本店)が、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく「特定被災区域」に存する場合、○を付けて下さい。
参照: 内閣府HP (<http://www.bousai.go.jp/2011daishinsai/2011jyosei-tokutei.html>)

注6) 施工に関わる者の中に住宅の省エネルギー技術に関する講習の修了者がいる場合は○を付けて下さい。

注7) 施工に関わる者の中に平成26年度中に住宅の省エネルギー技術に関する講習の受講予定者がいる場合は○を付けて下さい。

※) 業種(I、II...)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、VI. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 『九州』山の元気DEステップ26住宅	(地域型住宅供給対象地域) 九州地方・中国地方・関西地方・中部地方・関東地方
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) KS倶楽部	(結成年月) 平成21年1月
3. 過去の採択グループ番号 (必須)	0 3 - 0 0 8 4 - 0 4 5	6 注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ア. 特徴あるブランド化の目標設定 (必須)		
【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>【平成25年度の取組みにおける課題】 消費税アップに伴う駆け込み需要や自然災害などで、建築資材の供給に混乱が生じた中、地域材の供給は、品質の標準化とグループ内の連携で安定供給がなされた。しかし、建材・住設等での供給の遅れと価格上昇等で、予定していた当地域型住宅の着工と契約の順延が相次ぎ、採択棟数の約20%程度が消化出来なかった。</p> <p>【課題解決に向けた平成26年度の取組み】 内装仕上げ材に地域材の活用を促し、建材・住設等は施工会員間での標準化を計り、メーカー・流通問屋と協力し、有事にも安定的に供給できる体制作りを行う。</p> <p>【『九州』山の元気DEステップ26住宅の取り組み】 九州では戦後拡大造林が盛んに行われ、日本を代表する林産地域である。しかし、長引く国産材の需要低迷等により林産業の衰退が進んでいる。KS倶楽部では木造住宅に関係する各業種間の連携を通して、九州産材の需要拡大及びストック型社会に向けた長期優良住宅への対応を目的に、下記の特徴を用いてブランド化の取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山の元気……………主要構造材には九州産材を90%以上使用する ○構造の安全性……………断面欠損が少ない金物工法「KS構法」を採用する ○耐震性……………耐震等級2以上を確保する ○長期優良住宅……………認定の義務化 ○住宅の資産価値向上…維持管理計画書の策定と実施及び住宅履歴情報(いえかるて)の実施 ○スキルの向上……………会員及びエンドユーザー向け研修会の開催、省エネルギー技術講習会への参加を義務化 		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記を踏まえた地域型住宅の特徴等(性能や地域性等)における共通ルール (任意)	金物工法「KS構法」の採用 耐震等級「2」の確保	プレカット伏図の添付 長期優良住宅認定書の添付
イ. 効率的な住宅生産体制の整備 (aは必須)		
【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. 【平成25年度の取組みにおける課題】 地域材の供給という面では、供給棟数の増加への対応など、安定的な供給を行うことができた。その反面、プランニングなど住まい手と施工構成員との間で、耐震等級をクリアするための変更など複雑な部分もまだまだあった。</p> <p>【課題解決に向けた平成26年度の取組み】 ○引続き、施工構成員に、プランニングにおける構造上の重要性を理解して貰うためのセミナー開催すると共に、構造プラン手引書を作成し、その活用方法の説明会を開催する。 ○株式会社喜太郎(事務局)と設計事務所(構成員)とで、プランニングにおける構造上のアドバイス及び耐震チェックサポートを強化する。</p> <p>【木材の安定供給と住宅生産の合理化への取組み】 ○木材の品質確保…くまもと県産材共同集出荷センターの協力のもと、採用する構造材は全てグレーディングマシンによる検査(E50以上SD20以下)を行う ○安定供給……………株式会社喜太郎(事務局・KS構法開発会社)とくまもと県産材共同集出荷センターの協力のもと、原木→製材→プレカット工場との連携し、木材の安定供給に取り組んでいる 又、構成員のプレカット工場を増やし、供給体制を強化した ○住宅生産合理化…住宅品質の向上と均一化を目的に、共有の施工マニュアル書を配布する</p>		
b. 該当なし		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記の住宅生産の合理化・効率化に資する取組、安定供給の長期維持体制、グループの信頼向上に資する取組における共通ルール (任意)	該当無し (但し、木材の品質確保はオ. a.に記載)	

注1) 過去に採択されたグループは、最終的に付与されたグループ番号を記載してください。

※) 過去に採択されたグループは、それぞれの項目について直近の取組みを踏まえた課題と、平成26年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 『九州』山の元気DEステップ26住宅	(地域型住宅供給対象地域) 九州地方・中国地方・関西地方・中部地方・関東地方
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) KS倶楽部	(結成年月) 平成21年1月
3. 過去の採択グループ番号 (必須)	0 3 - 0 0 8 4 - 0 4 5	6 注1

4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 (aは必須)

【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)

【平成25年度の取組みにおける課題と平成26年度の取組み】

本事業を通しての長期優良住宅の戸数増加に伴い、構成員が管理する物件数も年々増加している。当グループでは、構成員が確実な定期点検を行い、住まい手の大切な住宅を長期にわたり維持できるよう、グループとしてのバックアップ体制をより強化することが必要だと考える。
そのために、昨年国交省が発表したホームインスペクションのガイドラインに即したインスペクター制度などを採り入れ、グループ全体のスキル向上を目指す。

【ストック型社会に向けての住宅維持管理などに対する取組み】

- 維持管理
事務局が構成員のいえとまち株式会社(住宅維持管理サポート会社)の協力を得て、維持管理計画書を作成し、長期に対応する自社計画書が無い施工構成員はこれを活用し、確実に実施する。
構成員の一部が既に取得している「住管協インスペクター」などの資格を、他の構成員へも広め、グループ全体のスキル向上を目指す。
- 住宅履歴管理
住宅履歴情報(いえかるて)の登録を行い、確実な記録と保管を実施する。

b. 該当無し

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの長期にわたる住宅維持管理体制における共通ルール (任意)	維持管理計画書の策定と点検の実施	維持管理計画書の提出
住宅履歴情報の保存方法 (任意)	住宅履歴情報の蓄積(いえかるてへの登録)	いえかるての申込書 又は 住宅共通IDの提出

エ. グループの技術力の向上 (aは必須)

【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)

a.【平成25年度の取組みにおける課題】

研修会の開催を通して、施工構成員が長期優良住宅促進の社会的意義をより認知した。しかし、エンドユーザー(住まい手)に向けての説明が全般的に不十分であったと考える。

【課題解決に向けた平成26年度に追加する取組み】

住生活におけるストック型社会の構築と、その意義を分かりやすく説明できる小冊子を作成しエンドユーザー(住まい手)に配布する。又、施工構成員が地域型住宅ブランド化事業の補助金ありきでは無く、ストック型社会構築の担い手として、全棟長期優良住宅で建て世代を超えて使い続けられるための住宅維持管理(家守り)を確実に実行出来るよう、より充実した研修会を実施する。

【平成26年度も継続して行う取組み】

- 「森と木」の語り部会<年2回>・・・森の役割や木に関する知識を高める
- 「長期優良住宅」研修会<年3回>・・・長期優良住宅が未経験の施工構成員向け
- 「維持管理と住宅履歴」研修会<年2回>・・・住宅の資産価値向上に向けて
- 「構造プランの考え方」研修会<年2回>・・・耐震等級2以上を確保するプランの考え方の習得

b.【平成26年度に新たに追加する取組み】

○住宅の省エネルギー化実現に対し、設計段階の省エネルギー性を担保出来る施工を行うために、施工構成員に対し省エネルギー技術講習会への参加を義務化する。技術講習会で得た施工のポイントを施工に関わる大工・職人へのポイントの指導や受講を促す。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの技術力の向上における共通ルール (任意)	各種研修会の実施、施工構成員の省エネルギー講習会受講の義務化。	グループ事務局への省エネルギー技術講習会修了番号の報告。

注1) 過去に採択されたグループは、最終的に付与されたグループ番号を記載してください。

※) 過去に採択されたグループは、それぞれの項目について直近の取組みを踏まえた課題と、平成26年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 『九州』山の元気DEステップ26住宅	(地域型住宅供給対象地域) 九州地方・中国地方・関西地方・中部地方・関東地方
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) KS倶楽部	(結成年月) 平成21年1月
3. 過去の採択グループ番号 (必須)	0 3 - 0 0 8 4 - 0 4 5 6 注1	
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与 (aは必須)		
【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. 【平成26年度に向けた新たな取組み】</p> <p>当地域型ブランド住宅の普及拡大には、地域材(九州材)の安定供給が不可欠です。 当グループでは、九州全域での生産者構成員(原木・製材)の拡大を計り、安定供給のネットワーク網の構築を目指します。</p> <p>【地域材活用に関する当グループのルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主要構造材・・・使用する木材は、熊本県産材を中心とした九州全域(沖縄県は除く)の県産材を90%以上活用する 又、その地域材証明は、流通時に構成員が確実に納品伝票へ記載、又は、合法証明書にて事務局へ提出する ○品質検査・・・使用する構造材はE50以上SD20以下を基準としてグレーディングマシンにて検査をし、木材には品質性能を表示する(見えかがりを除く) ○使用数量・・・1棟当り主要構造材(柱・梁・桁・土台)の90%以上に地域材を使用する 又、主要構造材以外の羽柄材等は、少量多種にわたリスムーズな流通を配慮して任意とする 		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材利用に関する共通ルール (必須)	①主要構造材は九州産材(熊本県産材を中心とした九州県産材)を90%以上使用する ②木材の品質検査(E50以上SD20以下)	①合法木材証明書の提出 ②木材の品質表示付出荷証明書の添付
b. 該当なし		
c. 該当なし		
d. 該当なし		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材情報の共有、地場産業等の積極的活用、地域の住文化・景観・デザインへの寄与、和の住まいの推進に関する共通ルール (任意)		
その他 (任意)		
【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>【平成26年度の新たな取組み】</p> <p>長期優良住宅の重要なポイントは、家族の成長に合わせた暮らし方が出来る家、更に時代を超えて住み続けられる家、そう考えています。その為には、その時その時代の家族のライフステージに合わせて、生活空間も自由に変えられる間取りの可変性が不可欠です。しかし、従来の木造軸組工法は各部屋で構成された構造躯体です、よって間取りの変更が自由に出来ませんでした。当グループでは、開発会社(株式会社喜太郎)が開発したKストラスを活用し、自由空間型の構造躯体も採用しています。26年度は施工構成員の意見を取り入れ、地域材100%の木造トラス及び、現場組立て式のトラスの開発に着手し本年度中の供給を目指しています。</p>		

注1) 過去に採択されたグループは、最終的に付与されたグループ番号を記載してください。

※) 過去に採択されたグループは、それぞれの項目について直近の取組みを踏まえた課題と、平成26年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

※) グループの取組に関する補足説明は様式3-3の「その他」の欄に記載して下さい。